

小学校版「SOSの出し方指導プラン」(小学校低学年)

- 1 ねらい 不安や悩みへの対処法として、相談の仕方を知ることができるようにする。
- 2 準備 ワークシート スライド 電子黒板 パソコン 拡大資料 場面絵
- 3 展開

過程 (時間)	主な学習活動 ☆：児童の反応	指導上の留意点及び支援 指：指示 発：発問
(5分)	<p>1. 本時のねらいをつかむ</p> <p>○児童集会の内容をスライドから思い出し、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>☆悲しい気持ちになる。 ☆嫌な気持ちになる。 ☆イライラする。 ☆お腹が痛くなる。 ☆学校が嫌になる。 ☆給食が食べられなくなる。 ☆頭にくる。 ☆家に帰りたくなる。</p>	<p>・児童集会で使用したスライドを提示することで、集会の内容を想起しながら、本時の学習の見通しがもてるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>発：「モヤモヤが濃くなったり、増えたりすると、心はどうなってしまうと思いますか？」</p> <p>・本時のめあてを板書やカードで黒板に提示し、視覚的にも捉えられるようにする。</p> <p>指：「今日はモヤモヤをすっきりさせるために、いろいろな方法を見つけてみましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> めあて：モヤモヤをすっきりするには、どうしたらいいかな？ </div>
(5分)	<p>2. 具体的な場面での気持ちを考える。</p> <p>○どんな場面かを聞き、自分ならどう思うか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具を取られた時 →くやしい、悲しい ・友達とケンカをした時 →頭にきた、くやしい ・友達に押された時 →嫌だな、何でだろう ・親に怒られた時 →頭にきた、あっちいって 	<p>・これまでの生活経験から、こころがモヤモヤした時について考えることで、本時の内容がより身近な問題として捉えられるようにする。</p> <p>発：「このようなときは、どんな気持ちになりますか？」</p> <p>・視覚的に捉えられるように、場面絵を用意しておく。また、それぞれの場面絵を見せることで、どのような気持ちになるか聞き、自分に置き換えて考えることができるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>

(10分)

3. 「こころのモヤモヤ」をすっきりさせる方法を知る。

○提示された方法を見て、自分だったらどの方法にするか選ぶ。

☆好きなものを食べる。

☆ゲームをする。

☆本を読む。

☆テレビを観る。

☆絵を描く。

☆スポーツをする。

☆寝る。

☆外で遊ぶ。

☆誰かに相談する。

☆歌を歌う。等

○「こころのモヤモヤ」をすっきりさせる方法をペアで伝え合い、友達と考えを共有する。

・ワークシートを拡大し、黒板に掲示することで、視覚的に捉えやすくする。

発：「どの方法ならこころのモヤモヤをすっきりさせることができるでしょうか？」

指：「ワークシートに丸を付けましょう。いくつ選んでもいいです。自分で考えてもいいです。」

・ワークシートの選択肢に○を付けさせ、他にも自分で考えられれば付け足してよいことを伝える。

・児童の様子を見ながら、すっきりさせる方法について考え方が広がるように声を掛ける。

指：「隣の席の友達と、伝え合いをしましょう。」

・向かい合って自分で選んだ方法を伝え合い、友達の考えも認めるように声を掛ける。

(15分)

4. 相談のポイントを確認する。

○「相談の出し方さん」について、内容を知る。

・黒板に掲示してある「相談の出し方さん」やワークシートに書いてある、「相談の出し方さん」を見ながら読む。



○「相談の出し方さん」を使ってロールプレイをし、自分の気持ちを伝える練習をする。

指：「今のように自分の考えを、友達に伝えることもよい方法です。誰かに相談することもよい方法ですね。」

指：「誰かに相談をする時に、心のモヤモヤを上手に伝えられるポイントがあります。」

補助説明

「どんなことがあったか」(場面)「どう思ったか」(感情)「どうしたいか」(実行)の三つで、相談の出し方さんといいます。」

指：「相談の出し方さんを使いながら、相手に話す練習をしましょう。」

・本時は相談する相手を席が隣同士の児童とし、話を聞く側の児童は「うなずき」

	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんなことがあったか」「どう思ったか」「どうしたのか」を使い、いろいろな言葉で、相手に伝える方法を練習する。 ○友達とロールプレイをした感想を伝える。 ☆すっきりした。 ☆上手に言えた。 	<ul style="list-style-type: none"> と「目を見る」ことを意識できればよいと伝える。 ・ペアで立場を交代しながら、練習ができるようにする。 ・ロールプレイの後、友達同士で感想を伝え合う時間をもつようにする。 <p>発：「友達と練習をしてみて、気持ちはどうなりましたか？」</p>
(10分)	<p>5. 授業内容の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集会で使用したスライドを見ながら、本時の学習内容のまとめをする。 ☆いろいろあったけど、誰かに話すといいと分かった。 <p>○本時の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆モヤモヤをすっきりさせる方法がいろいろあることが分かった。 ☆これから、いろいろやってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会で使用したスライドを見て、本時の学習内容の確認をする。 <p>発：「今日の学習で、心のモヤモヤをすっきりさせるには、どうしたらよいか分かりましたか？」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="842 927 1078 1090">  <p>モヤモヤが風になるまえにどうすればいいかな？</p> </div> <div data-bbox="1139 927 1375 1090">  <p>こころのモヤモヤは、すっきりしたほうがいいよね。</p> </div> </div> <p>指：「今日の学習で分かったことをワークシートに書いて、マークに丸を付けましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、自分の気持ちに合うマークに丸や色を付けるように声を掛ける。

【おはなし】

やすみじかんに、ともだちとあそんでいて、けんかになってしまいました。そのあとも、まだなかなかおりが、できていません。そのともだちと、おはなしもできていません。
だから、ちがうともだちに、そうだんをしました。

だし かた
出し方さん①
どんなことが
あったか



だし かた
出し方さん②
どう
おもったか



だし かた
出し方さん③
どうしたいか



【セリフ】

じぶん：「ねえ、ねえ、そうだんがあるんだけど、
きいてくれる？」

きく人：「いいよ。」(目をみる)

じぶん：「あのね、ともだちとけんかしちゃったの。」



きく人：「うん、うん。」(うなずく)

じぶん：「はなせなくなっちゃった。かなしいな…。」



きく人：「そうなんだね。」(目をみる)

じぶん：「なかなかおりがしたいんだけどさ…。」



きく人：「うん。うん。」(うなずく)

じぶん：「だからね、
先生にそうだんしようとおもうんだ。」



きく人：「そうだね！」(うなずく)

じぶん：「いってくるね！きいてくれて、ありがとう。」

きく人：「どういたしまして！」

☆おしまい☆